

なんきんはぜの会 第262回 小畑川通信



月 17 日(土) 8:00~10:00 気温 9℃、水温 8℃、EM 24L.

加: 大人 22 名、子ども 1 名、計 23 名 (のべ人数 8227 人).

ミ: A 61kg(28 袋)、B 9kg(6 袋)、計 70kg (のべ 20 t 370kg). 資源ゴミ 1 袋.

大型ごみ: ショッピングカート、ショッピングかご、敷物 1.5m x 1.5m、プランター.

- 1) 三寒四温. 春が急にやって来たような日もある中、17 日はうすら寒いことでした. ティータイムのそばで咲く水仙 5 株にいやされました.
- 1) 15 日に降った雨は芦をなぎ倒すほどのことでしたが、水位は下がり ゴミは拾いやすくなってました. 最近石垣と中州の木は伐られ見通しの良い川となりました. ノイバラがないこと、石垣に残された切り株が川への登り下りに協力的になったこともある一方、カワセミは止まる枝がなく来る数が減るのでは... ? とか、ホタルにはすべての光が入り込み 明るすぎて困るのでは... ? とか. みなさんの夏の活動、緑がなく木陰なく、きびしい暑さとむきあうことになるでしょう... とか考えます. 永年の木々の下になっていたゴミもあちこちに目立ち、時間内にきれいにできませんでした.
- 1) 2022, 2023 年の感謝状に登場した、ヒレンジャク(しっぽの先が赤、アムール川で繁殖)、キレンジャク(しっぽの先が黄、ユーラシア大陸で繁殖)が今年も小畑川に来てくれていると吉野さんの報告. トウネズミモチを食べ、小畑川の水を飲んだそうです. 冬鳥ですから 帰ります. プーチンさんに戦争やめてと伝えてくださいネ.

=うじがわ=

京都京洛ライオンズクラブ 佐原 勤 (65 才)

私が住む地域(宇治市)には宇治川が流れ、私達が生活していく上でなくてはならない河川となっています. 現在もその宇治川本流から ポンプアップされ広大な田園地帯(旧巨椋池干拓田)に水を引く為の用水路が一般市民の生活圏内に流れています. 子供の頃、その用水路で泳いだり、魚釣り、ザリガニを捕ったりしてよく遊びました. 途中で点在する ため池でもよく泳いだものです.

田んぼが大きな遊び場、学びの場でありましたが、用水路も子供達にとっては、自然界の生き物と遭遇できる場であり、色々な生態系を学ぶ事ができ、優れた教科書でした.

宇治川本流での一番の思い出は、葦を編んで作った 4 人乗りの舟で宇治川を下ったことです. 宇治橋の袂からスタートし、隠元橋を潜り、ここで浅瀬に舟底がつかえてしまい、川の中へ飛び下り、力を合わせて浅瀬から脱出し、観月橋まで下りました.

宇治川本流中央部から、両サイドに広がる堤防道、河川敷の様子は、今まで見たことのない景色で感動しました.

私にとって川は楽しく、ちょっとスリルを感じ、大自然の営みを脈々と感じとれる良き遊び場として、今も心の中に残っています.

次回 3 月 16 日(土) 8:00~10:00

雨の時 3 月 18 日(月) 8:00~10:00

3 問い合わせ 野崎 331-1611, 森 332-3474

